

# Advances in Resources Research 投稿規程

資源経済研究会  
2020年11月25日制定  
2021年4月23日改訂  
2021年11月29日改訂  
2022年3月10日改訂

## 1. 目的

自然資源（エネルギー、食料資源、水資源）および関連分野に関する科学および技術上の発見、理論、知識ならびに重要な経験、調査・研究結果を国内外の学会、機関および個人に広く公表し、自然資源および関連分野に関する科学と技術の普及、発展に資することを目的として、学術誌 *Advances in Resources Research*（ARR）を刊行する。

## 2. 編集方針

ARR の記事内容は、自然資源および関連分野に関連する科学と技術の発展に役立つ記事とし、自然資源および関連分野に関心を持つ学会、機関および個人の知識の交換および相互の啓発に有効なものとする。記事の内容は新しい結果に基づくもので、他誌（著者による特許とプレプリントを除く）に未発表のものとする。

記事の言語は英文とし、体裁は A4 版とする。

## 3. 刊行と保存

ARR は四半期ごとに電子ジャーナルにより発行される。

記事の全文は J-STAGE（日本科学技術情報発信・流通統合システム）で公開し、どなたでも無料入手できる。

J-STAGE は、ARR を含むフルデジタルライブラリーを、Portico によるダークアーカイブとともに保存している。そのため、ARR が J-STAGE で利用できなくなった場合には、Portico で公開・利用可能となる。

## 4. 記事の種類

記事の種類は、以下に分類される。

### (1) 論文（Original Paper）

独創的な学術研究で新しい事実、あるいは価値のある結論を含んでいるもの。

### (2) 総説（Review Paper）

ある特定の主題について、これまでに公表した論文の内容を中心にまとめて新たに執筆されたもの、あるいは著者の研究成果または調査結果について著者の意見を含めて論じたもの。

## 5. 編集委員会

ARR の編集は、第 2 条に定める「編集方針」に基づいて ARR 編集委員会が行う。

ARR 編集委員会は発行母体の資源経済研究会と独立し、その構成や活動などについては、「編集委員会規程」によるものとする。

## 6. 投稿資格および投稿

投稿原稿の著者は、国内外の大学ならびに研究機構の教員・研究員、大学院博士後期課程の在籍者、研究理念および研究目的を同じくする者とする。著者のうち、査読対応・原稿校正を含め、掲載に至るまでの責任をもつ 1 名を **Corresponding Author** と定める。

投稿にあたっては、指定された電子的な方法により、「投稿規程」および「執筆要領」に従い、原稿を提出するものとする。

## 7. 投稿原稿

投稿原稿には、自然資源および関連分野に関する科学技術の進歩と発展に対し、著者の十分な貢献が含まれていなければならない。さらに投稿原稿は、明白な商業的意図を有してはならない。

著者は原稿の執筆にあたり、「投稿要領」に示されたすべての条件を満たさなければならない。投稿原稿は、一つの論文として発表することが可能なデータを断片化して複数の研究とすることはできない。なお、一連の成果を連続した記事として投稿する場合は、各原稿には独立の表題を付けることとし、全体を統一する表題は副題とする。

投稿原稿においては、過去の関連論文を参照できるように出典を明示するとともに、当該論文の新規性に関する十分な説明を含まなければならない。この際に、関連論文の著作権を侵害しないよう注意を払わなければならない。

既存論文の批判は、学問上の主張を目的とする場合にのみ許される。既存論文の著者を個人的に攻撃する目的で批判を行ってはならない。

投稿原稿において、第三者がその研究を再現、検証、評価するに十分な情報を提供しなければならない。

画像は元データを正確に反映し、特定の部分を移動、削除、追加、強調してはならない。また、画像をデジタル処理により加工することは認められるが、編集委員会は必要に応じて著者に処理前のオリジナル画像の提出を要求する権利を有する。

研究者倫理違反行為があった場合には、原稿の受付、審査、掲載決定を取り消す。すでに掲載済みの場合には記事を撤回する。

## 8. 査読と校正

編集委員会は投稿された原稿に対し、「査読規程」に基づいて、匿名による査読を行う。

著者は編集委員会が選任した査読者の意見書の意見に基づき、必要に応じて原稿を修正する。訂正の都度、著者は修正原稿を査読意見に対する回答書とともに編集委員会に提出する。修正原稿の訂正箇所は赤字を記す。

原稿の採否は、編集委員会が選任した査読者の意見に基づいて決定する。

掲載不可と判断された原稿は理由を付して著者に返送される。著者は判定に対し意見がある場合は、文書をもって編集委員会に申し出ることができる。

編集委員会からの内容の照会および修正を依頼された原稿について、編集委員会からの依頼日より2か月以内に著者の回答、または返信がない場合は、原則として、この記事の投稿は撤回されたものとする。

著者校正は初校または再校で一度行う。校正時の内容の訂正は原則として認めない。

著者が ARR に正誤表の掲載を希望する場合は、公表後1か月以内に編集委員会に文書で申し出る。ただし、正誤表掲載の必要性は編集委員会が判断する。

## 9. プレプリント

ARR では、投稿前または投稿と並行し、JST の運営するプレプリントサーバを含み、コミュニティに認知されたプレプリントサーバへ著者が原稿を投稿することを推奨している。

プレプリント論文を投稿する場合は、当該原稿がプレプリント論文であることを申告する。採択後はプレプリント論文に ARR の掲載論文の URL を表示することを推奨する。

## 10. 著作権

ARR に掲載された記事の著作権（電子化などによる二次的著作物の利用に関する利権を含む）は、最終原稿が受理された時点から資源経済研究会に属する。著者が所属する学術機関レポジトリへの掲載記事の登載は、ARR 刊行後かつ PDF ファイル形式で行う場合のみに認める。

ARR はオープンアクセス誌として、記事をクリエイティブ・コモンズ表示（CC BY）ライセンスで掲載される。

## 11. 掲載料

ARR に掲載された記事の掲載料は、状況によって異なる。援助基金の記事は、基金ごとに500ドルの固定掲載料を支払う。援助基金のない記事は、掲載料を免除する。